

「ETロボコン2017」九州北地区大会でIPA賞を受賞しました。

9月24日（日）、九州産業大学で開催された同大会に、九州職業能力開発大学校のチーム「九 TECH」が出場し、IPA賞を受賞しました。

IPA賞とは、開発されたソフトウェアに創意工夫と技術力が認められたチームに与えられる賞です。IPAは、後援している（独）情報処理推進機構の英語の略称です。

本校チームが出場したのはデベロッパー部門のプライマリークラスです。競技は、定められたハードウェア（走行ロボット）を使用し、指定のコースをどれだけ速く、そして課題をいかにクリアするかを競います。走行ロボットを制御するソフトウェアの開発力が試される競技です。

この大会は、チャンピオンシップ大会（全国）の出場をかけた地区大会で、各地区の優秀なチームがチャンピオンシップ大会に出場します。残念ながらチーム「九 TECH」の出場は叶いませんでした。

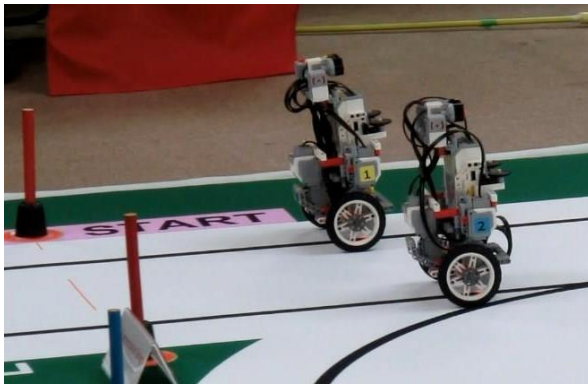
本校は、同大会のガレッジニア部門にも出場しています。自由な発想のもと「新しい」「わくわくする」ロボットを決められた製作費内で作り、発表する競技です。10月1日以降、You Tube へ投稿されたロボット紹介ビデオの再生回数などをもとに予選審査が行われ、その結果により11月15日から開催されるチャンピオンシップ大会への出場が決まります。ビデオを見て“いいね！”で応援をよろしくお願いします。



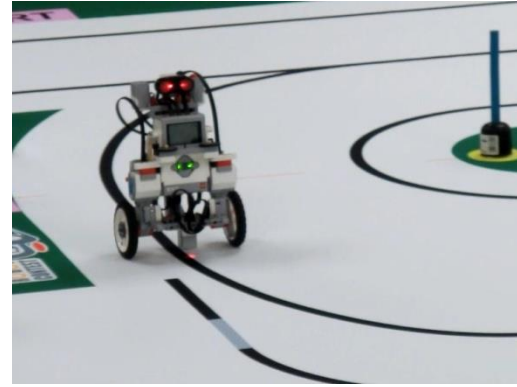
デベロッパー部門の競技コース

【競技コース】

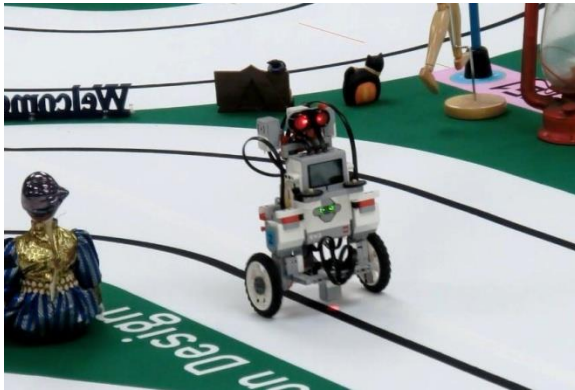
- ・ Lコース（IN）とRコース（OUT）があり、ゴールは中央の直線コース終了手前に設けられている。ゴール通過後には難所課題が設けられている。
- ・ Lコースには左手前に2段の階段（難所）が設けられている。
- ・ Rコースには手前中央左にルックアップゲート（難所）が設けられている。
- ・ 青色の枠（コの字）を車庫とし、ロボットが車庫内に停止した時点で課題終了となる。
- * 各ロボットは、両コースを走行し、ゴール時間と難所のクリア可否で得点を競う。
- * 競技では、2チームのロボットが同時に走行する。



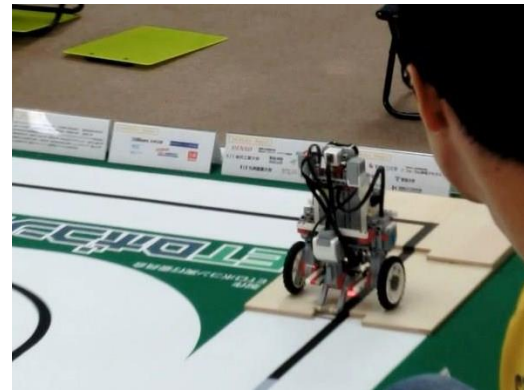
スタート直後の「九 TECH」：手前Lコース



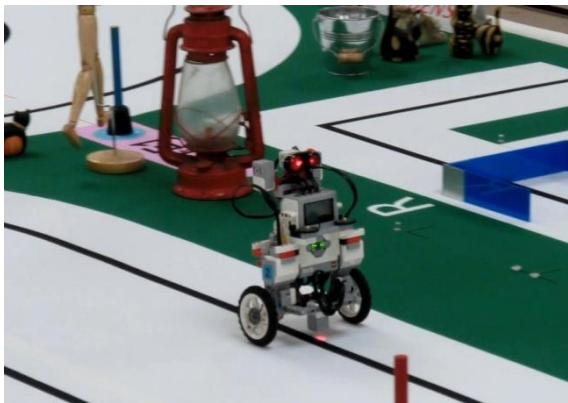
スムーズなコーナリング



直線コースも快走



1段目の階段をクリア



Rコースを快走する「九 TECH」



ロックアップゲートをクリア



IPA賞 表彰状



IPA賞 トロフィー